

今日はここから、なぜキリストにあって死ぬ死者が幸いなのか、幸せ者だと言えるのか、3つのポイントで考えます。

1) 今から後の今は、艱難時代後半が始まる今。

なので、今から後は、艱難時代後半の3年半のこと。その期間、主において死ぬ死者は幸いである。後半3年半は反キリストが自らを神と名乗り、自分を礼拝しないすべての人を殺してしまう。反キリストを拝まない人は売り買いさえ出来ない。そんな絶対暗黒時代ですが、反キリストを信頼して生きるよりも、キリストを信頼して殉教するほうがはるかに幸せだ、と語っているんですね。

聖書の価値観に則って言うと、最も不幸な人は、神から離れた状態で人生のやることなすことすべて上手くいく人です。人生が全部上手くいく人ほど不幸な人はいないと言うのです。

そのような人は、神に立ち返る動機付けが一切起こらないからです。

「別に神に頼らなくても、創造主を見出さなくても、自分自身で、この地上で十分満喫できる」と考えている人は、神を求めることがとても難しくなる可能性があります。それは幸せなことではない。

むしろ、「自分の中に欠けている決定的なもの、決定的な方はメシア・キリスト、創造主なる方だ」と見出すほうがはるかに重要です。

今から後（大艱難時代）、主において死ぬ死者は幸いである。

主において殉教するほうがはるかに幸せだ、と言い切ることができるのはどんな方でしょう。

地上でどんな不条理を受けたとしても、天で完全な埋め合わせを果たす、という素晴らしい準備が出来ている方、準備して与えることができる方でない限り、このようなことは言えません。

この言葉は、「神は、地上の一時的な、3年半の三日天下のような、はかない罪の楽しみよりはるかに永続し、魂の深い満足がある祝福を準備しておられる方だ」ということを教えているのです。

2) 御霊も言われる。「しかり」。

御霊はキリストを信じた人の内側に与えられる神の霊、聖霊です。

聖霊はすべてのクリスチャンの中に宿って、信仰生活を内側から励ましてくださる方です。

どのように励ましてくださるのか。しかり（そのとおり）という言葉に表れているように、御言葉が必ず実現することを思い起こさせ、勇気を与えてくれるのです。

キリストを信じる人たちは3年半の間、信じたからといって奇跡のオンパレードで助け出されるのではなく、そのまま殉教する人がほとんどです。

具体的・実地的な助けを経験しないにも拘わらず、なぜ信仰を保つことができるのでしょうか。

「あと3年半したら、キリストが地上再臨して天で迎えてくださるんだ。」

彼らは経験する前に、聖霊の力によって、神様の約束の真実を確信できる幸いを味わえる。

これは、信仰に立った人たちだけが経験できることなんですね。

信仰の戦いから逃げないで、思い切ってキリストに信頼して立つ時、状況は全く変わっていないにも拘らず、心が平安だったり、喜びに躍っていたり、勇気が与えられることがあります。

これは、クリスチャンとして信仰の戦いから逃げず、思い切って一歩踏み込んで進んでみた人たちだけが経験できる聖霊体験です。

御霊も言われる。「しかり。」

聖霊が「御言葉が語っていることは真実なんだよ」と私たちの内側で語られ、生きて行く勇気が湧いて来るといふ経験ができるのです。

3) その人たちは、その労苦から解き放たれて安らぐことができる。彼らの行いが、彼らとともに歩いて行くからである。」

彼らの行いが、彼らとともに歩いて行く。

信仰生活において、彼らが他の信仰者たちや他の人たちにした良い行い・親切な働き・励ましの言葉・144,000人のユダヤ人たちに宿を貸したこと・衣服を与えたこと・1杯の水をあげたこと…。小さな一つの親切であっても、天国での報いに漏れることはないんですね。

神は私たちが正しく生きる時、その生き方を記録しておられます。

罪についてはキリストの血潮で全部打ち消されました。

キリストにあって行った良いことだけが記録として残るのです。

神はその一つひとつについて豊かに報いてくださる方。

「どんなに不条理な扱いを受けたとしても、その嫌な、深い心の傷も全部完璧に忘れさせる、それらを埋め合わせて余りある素晴らしいものを、神は報いとして準備してくださっているのですよ。」

いかかでしょう。キリストだけが、本当の意味であなたの心の傷を癒すことができる方です。

あっさり黙示録を聞いておられる方で、「まだキリストにアクセスしていなかったな。」「私にはキリストが必要だ」と思われたら、ぜひ今、このキリストをご自分の救い主として受け入れてください。神は喜んで、あなたを神の子供として迎え入れてくださいます。

どうぞこれからも、聖書の言葉を聞き続けてくださいますようお願いいたします。

チャンネル登録もお願いします。ではまた お目にかかりましょう。皆さん、お元気でいてください。さよなら！

☆使用した聖書は「聖書 新改訳 2017」です。